

◆鴻徳神社のご祭神は五穀の大神（五穀さま）ですが、今日は今まきにお働きになつておられる生き神としての五穀さまを考察してみたいと思います。

◆「五穀さま」とは具体的にいて抽象的な名称ではありませんが、この神は古事記に登場する所の大宜都比売（オオゲツヒメ）であると思われまふ。大々たくさんの、宜（ゲ）⇨ケ⇨食（御食⇨ミケ）という語意があります。

◆ご神徳は①五穀豊穡のご守護、②食物の恵み、そして③食という生活の根本を支えることから人の道を司るという三点に集約されそうです。この中で②については現世利益的に解釈しますと「食いっぱぐれがない」（笑）。お金は無くても食べ物には困らない、グルメになれる、そんな要素がありそうです。③については現在第一・三日曜に開催している日曜講話がまさに人の道を学ぶ勉強会になっていますから、こんなところでも生き神としてお働きが見て取れる気がします。

◆鴻徳神社の創建にあたっては、東京都江東区木場の材木商、故板東政雄氏が社殿建設にあたり多大に尽力されましたが板東氏の出身は徳島県鳴門市。徳島県は旧阿波の国であります。そして阿波国をひらいたと言われているのが大宜都比売なのです。五穀とは稲・粟・小豆・麦・大豆のことで、粟（アワ）が転じて阿波となります。板東氏は大宜都比売の使者、たつたのでしようか。

（※四国には弘法大師空海と五穀大明神の邂逅に関する伝承も残されています）

（二ページに続きます）

BLOG ISSUE

日々是精進神職日誌BLOG

<http://kotoku-j.cocolog-nifty.com>



人生は一瞬
今日、なさねばならぬ

題字 青山杉雨先生



鴻徳神社社報

平成22年新春（第19号）

発行 鴻徳神社社務所 〒273-0122
千葉県鎌ヶ谷市東初富1丁目10番28号
TEL/FAX 047-444-6750 <http://www.kotoku-jinja.jp>



ココロをキレイに～

大祓詞

おおはらいことば そうじょうたいけん

奏上体験

1月から
毎週水曜・土曜 11時より

個人の浄化、家族の浄化、
社会の浄化、世界の浄化・・・
身も心もキレイになりましょう！

ご参加は普段着で大丈夫です。
参加料は随意（賽銭箱へ願います）

※詳細は3ページを参照。

行事予定

Schedule

12月30日（水）11時 師走の大祓

◎元日午前零時（深夜）歳旦祭

※恒例富くじ開催、甘酒が振舞われます（予定）

◎正月三が日は初詣対応をしております。

1月17日（日）11時 日曜講話 #36

2月7日（日）11時 節分祭

21日（日）11時 日曜講話 #37

3月7日（日）11時 月次祭・日曜講話 #38

4月4日（日）11時 春季祭・日曜講話 #39

18日（日）11時 日曜講話 #40

※2/7、3/20の日曜講話はお休みします。



日 曜 講 話
～神ながら Live～

毎月第1・3日曜
午前11時～1時

※申込不要
参加料随意 (賽銭箱へ)

◎第三十五回 (十一月一日)

先祖供養は自ら出来る範囲で心をこめてする、日々の行いが大事、朝に神仏と祖霊に今日一日の無事を祈り、夕に一日の無事の礼をなす、ただ御利益・御加護のみの願いは叶えられない

◎第三十四回 (十月十八日)

生かしていただいていることへの感謝と親と先祖への感謝、子供の心は生活環境や親のしつけにより大きく変わる日に三度の食事と「頂きます」、道徳と礼儀作法の大切さ、苦勞のない人間はない

◎第三十三回 (十月四日)

心が成長すれば悩みは一つひとつ消えていく、執着を流す、「今」を生きる自分の中の限界まで努力する、人の心を大事にしない企業は衰退する

”ココロに元氣”
「神ながらの道」をやさしく楽しく学びます。

(一ページからの続き)

◆大宜都比売の解釈は広く、保食神(ウケモチ)と称されることもあり、性質から言えば伊勢神宮の外宮に祀られている豊受大神であるとも言えます。太陽神である天照大御神をお支えする大切な神さまです。

◆ここまで来ると、当然稲荷神としての神格を併せ持つことも考えられますが、数年前に赤坂の豊川稲荷に旧ご神体が奉遷されるという出来事があり(話せば長くなりますが…)これを機に五穀さまは稲荷神としてのご神格から更なる神上がりをされたのではないかと、私は感じて

◆稲荷というの、実は古代に大陸から渡って来た渡来系の神なのです(渡来系に対し、日本の国土に固有の神があります)。全国三万五千社といわれる稲荷神社も、もとは渡来人により建てられたものが多くあるそうです。稲荷神は具体的には宇迦之御魂神(ウカノミタマ)であり、御饌津神(ミケツカミ)とも言われます。

◆稲荷神社の発生については「山城国風土記」に、渡来人である秦氏の祖先が裕福であった為に食べ物(餅)を弓矢の的にしていたところ餅が白鳥になって飛び、山の峯に停まった所に稲が生えたとあります。稲が生った「イネナリ」が変化してイナリになったという説です。

◆さて、この中で大事な箇所が二つあります。まず、鴻徳神社の創建以前に東京都北区赤羽で「悟法会」として五穀さまを奉斎されていた故田中光雄先生はご出自が大陸出身であったこと(渡来)。そして、鴻徳神社の紋章が「白鳥」であることです。旧JALの鶴の丸ならぬ鴻の丸は白鳥を表しているのですが「鴻」には白鳥と大きな恩恵という意味があります。



◆しかし、鴻徳神社の社名および紋章制定時には上記のような考察がされていたわけではないので、創建にあたって関係者に対し、五穀さまから霊感的に「白鳥」というご神意がもたらされたのでしょうか。

◆五穀さまは、白髪の老人という姿で夢に出てくるようですが、住吉の神なども同様の姿で出てこられるそうですので、これは正神系の神であるひとつの根拠と言えましょう。

◆以上、五穀さまについて考察してきました。私にとつては研究途上のテーマですので、今後の修正が出てくることもあり得ます。また本文内容につき先輩諸氏から叱咤をお受けすることになるかもしれませんが、今後も五穀さまのご神格を明らかにし、ご神徳に基づいた神社運営を構築していきます。そのためには本誌をご覧の皆さまお一人おひとりのお力添えが是非とも欠かせません。

◆社務としては日曜講話の充実を目指しますが例祭および外祭も活発に取り組んでいきます。目下祭祀の研鑽に勤しんでいます。二〇一〇年本年もどうかよろしくお願いいたします。

※追記

渡来系の神の二大勢力に八幡神と稲荷神が挙げられますが、先述の板東氏は東京在住時には深川の「富岡」八幡宮の氏子でした。そして、私の現在の住所が鎌ヶ谷市富岡。この世は必然の連鎖で成り立っています。

(かみお けいたい 鴻徳神社神職)

※筆者のブログ「日々是精進神職日誌」は神社神職でつくる神社オンラインネットワーク連盟の加盟サイトです。是非ご覧ください。

URL = <http://kotoku-j.cocolog-nifty.com>

新成線くぬぎ山駅前・田端青果店の出張販売です。市場直送の新鮮な野菜、フルーツその他食料品をお得にお求めいただけます。是非お出かけ下さい。



火曜 昼市 Market



火曜 昼市
～新鮮野菜と果物即売

毎月第1火曜
正午～午後1時

※社務所前にて開催

平安時代の法制書である延喜式に記載された大祓詞（おおはらいことば）の奏上は歴史の中で脈々と受け継がれ、今に息づいています。日本文化の底流に触れるだけでなく、普段知らず知らずのうちに犯している罪穢れを浄化し心身ともにリフレッシュする効果があります。そんな大祓詞をみなさんと一緒にお腹から声を出して奏上するのが、大祓詞奏上体験です。会員制ではありませんので、参加可能な日にお気軽にお出かけ下さい。奏上を続けることで気持ちがスッキリします。

大祓詞奏上体験 Shintoism Work



大祓詞奏上体験
～ココロをキレイに

毎週水曜・土曜
午前11時より

※日供祭を兼ねます。
所要時間15分程度

社務所のごあんない

社務所にて、各種教室・サークル活動を行っています。お気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

お問合せ TEL/FAX 047-444-6750 info@kotoku-jinja.jp

清和書道会 鎌ヶ谷教場

Seiwa Shodokai

主宰の宮司・神尾鬼泉は、書家・青山杉雨先生を師に都立名門日比谷高校の書道科を32年担当してきました。



教場では幼児から大人まで、懇切丁寧に指導をしています。

毎週水曜・土曜10時～16時まで開講。

賞状書き、案内状などの筆耕も申し受けます。

<http://www.kotoku-jinja.jp/seiwa>

自己肯定力を育む～ 神尾塾

Kamio Juku

自分を信じ、自分で考え行動できる人間をつくる。

◎鎌ヶ谷・白井から安心通塾

◎小・中・高の算数・数学を中心に主要教科を指導

◎学力不振からの脱出、

LDなど各種ケースに対応

◎寺子屋の雰囲気でお物の個別指導を展開

<http://kotoku-j.cocolog-nifty.com/kamiojuku>



楽遊会

Rakuyukai

鎌ヶ谷女性サークルとして発足して今年で10年目。

手芸の製作とおしゃべりの茶話会を中心に毎週火曜日楽しく活動しています。



昨年11月29日の楽遊会まあけつとは大盛況でした。

手芸作品から七宝焼、陶芸、つる細工、新鮮野菜が即売され、赤飯・豚汁販売・お茶席も賑わいました！

おとなの学び舎

Otona no Manabiya

あなたが日常をイキイキと過ごすため、あなただけの学習プログラムを組みます。

脳トレ、リハビリのため…あなたに合ったペースで無理なく楽しく。

大人の方であれば年齢に関係なくご参加頂けます。

※体験参加も出来ますので、詳細はお尋ねください。



シャボン玉EM石けん

Ecology

地球環境とカラダにやさしい無添加石けんを各種販売しています。

■化学物質一切不使用！

■EMは環境や人体に有益な微生物！自治体やNGOが河川浄化に活用。

■環境にやさしい！

石けんの排水は1日で水と二酸化炭素に分解され、石けんカスは水中微生物の栄養源になり、生態系にリサイクルされています。



昇殿参拝・外祭のごあんない

Information

◎木札の授与

特	大	中	小	羽子板
(五四cm)	(四五cm)	(三六cm)	(一四cm)	
五千元	三千元	二千元	一千元	二千元

※お守りは随時授与しております。

◎出張によるご奉仕(外祭)

「地鎮祭」「神棚奉斎」ほか
▼玉串料(正)金二万円以上
(準)金一万円以上

◎社殿におけるご奉仕

「神恩感謝の昇殿参拝」
「清祓」(交通安全祓ほか)
▼玉串料(正)金五千元以上
(準)金三千元以上

五穀さまの御神徳による祭祀を
申し受けますのでご相談下さい。

鴻徳神社について

About "Kotoku-Jinja"



鴻徳神社の御祭神である五穀の大神(五穀さま)は災厄を払い智慧と福德を授ける靈験あらたかな御神霊であります。皆様の厚いご信心により大神様のご神徳に浴されますよう祈念いたします。

(編集後記)

世間的には神社にお願いごと(祈願)をする場所というイメージが定着してしまっていて、神社側としても「○○祈願」が当然のビジネスモデルになっている。しかしこれは神道の本質から外れていると私は言いたい。確かに、神社経営において祈願・祈禱はよい商材ではある。ところが祈願・祈禱というフレーズは参拝者の神に対する依頼心を煽るだけであり、神前で賽銭と共に自分の願いごとをぶつけるのでは、神に対する冒瀆ではないかと思う。

そういうことを思うようになってから、私の神社参拝は至ってシンプルである。むしろ無念無想で、風が通り過ぎる様に自分をまっさらにして二拝二拍手一拝をするだけだ。

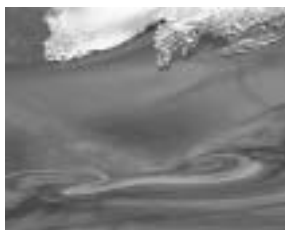
私たちは既に幸せである。今日食べるものがあることも、夜寝る場所があることも、本当は感謝の種である。それなのに、欲張ってしまうから一つの足りないことに心がとらわれて文句と嘆き、神社へ行けばお願い事のオンパレードになってしまうのだ。

ここで一つ、提案をしたい。ありがとうございます、と感謝のみ捧げる参拝をしてみませんか。神様は全て判っておられるから、あなたが一生懸命出来る限りの努力をすれば、本当に必要なものは祈願・祈禱をしなくても自然とあなたに与えられるのです。(K)



↑瑞々しく、まあいい心

↓サラリと、流したい



交通のごあんない

Access

◎電車の場合「新鎌ヶ谷駅」下車
東武野田線、新京成線、北総線

東口よりタクシーで5分
「東初富公民館」を目標に。

◎秋元病院から徒歩5分
東武ストア白井店から徒歩10分

◎自家用車の場合
五本松交差点から東初富公民館を
通過し、先の信号を右折。
※車は鳥居奥に入れてください。

